

CASBEE京都 評価結果シート

CASBEE 京都は、専用の評価ソフトを用いて評価を行います。評価結果は次の3つのシートで出力されます。

■ 評価結果シート <<標準システム>>

CASBEE 京都-新築 | 標準システム | 評価結果

1-1 建物概要	1-2 外観
建物名称: OOOビル 所在地: 京都府京都市 用途: 商業施設、防火地域 延べ面積: 5,000 m ² 建築年: 2014年12月 竣工年: 2014年12月 建築主: XXX 株式会社 建築面積: 15,000 m ²	階数: 地上10F 平均居住人員: XX 人 平均使用期間: XXX 年 評価の段階: 実施設計段階評価 評価の実施日: 2010年7月8日 作成者: OOO 確認日: 2010年7月10日 確認者: OOO

2-1 建築物の環境性能 (BEE ランクとチャート) | 2-2 ライフサイクル CO₂ の発生量 (チャート) | 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート) | 2-4 中項目の評価 (レーダーチャート)

BEE 値: 2.2 (★★★★★)

設計上の記載事項とCASBEEのスコア

項目	スコア	評価
1 大切に使う	4	★★★★
2 ともに住まう	4	★★★★
3 自然からつくる	4	★★★★

■ スコアシート

評価項目	評価	スコア	合計
1 建築物の環境性能	★★★★★	3.0	3.0
2 ライフサイクル CO ₂ の発生量	★★★★★	3.0	3.0
3 大項目の評価	★★★★★	3.0	3.0
4 中項目の評価	★★★★★	3.0	3.0
5 総合評価	★★★★★	3.0	3.0

■ 評価結果シート <<独自システム>>

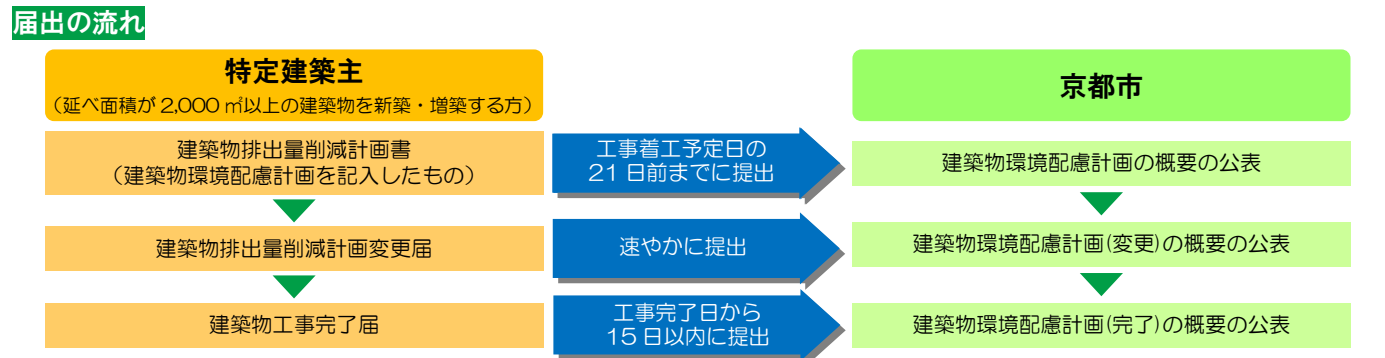
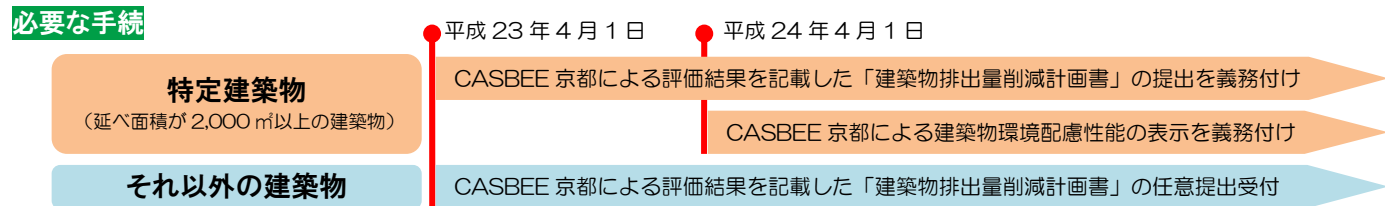
CASBEE 京都 新築 | 独自システム | 評価結果

独自システムは、「3つのキーワード」による京都独自の重点項目の評価結果を「エコちゃん」などで図示した「評価結果シート」が出力されます。

標準システムは、CASBEE 全国版に即しつつ、京都の評価視点を盛り込んだもので、5段階の格付けによる「BEE 値」やライフサイクル CO₂ の発生量の評価結果等を図で分かりやすく示した「評価結果シート」や、詳細な得点を示した「スコアシート」などが出力されます。

京都市地球温暖化対策条例に基づく手続等

- 平成 23 年 4 月 1 日以降：**特定建築物**（延べ面積 2,000 m²以上の建築物）の新築・増築について、CASBEE 京都による評価結果を記載した「建築物排出量削減計画書」の提出義務付け
- 平成 24 年 4 月 1 日以降：**特定建築物以外の建築物**の新築・増築について、評価結果の任意提出受付



CASBEE 京都の詳細情報は、京都市のホームページで御覧ください

評価のための詳しいマニュアルや専用の評価ソフトなどを京都市のホームページからダウンロードできます。
(<http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/soshiki/9-3-1-0-0.html>)

問い合わせ先
京都市都市計画局建築指導部建築指導課
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地
電話 (075) 222-3620 FAX (075) 212-3657

CASBEE 京都で検索してね。

CASBEE 京都



PR 部長のまゆまろです

国民文化祭・京都2011

2011 年 10 月 29 日(土) ~ 11 月 6 日(日)



平成 23 年 4 月
スタート

京都市建築環境総合性能評価システム

CASBEE 京都 のあらし

環境にいいことしていますか？

この度、京都市では、京都にふさわしい環境配慮建築物を普及、促進するため、その評価基準（ものさし）となる「CASBEE 京都」を創設しました。

この CASBEE 京都によって、京都の自然や歴史、景観を大切にしながら暮らす知恵を生かした、環境にやさしい快適で住みやすいまちづくりを目指します。



エコちゃんの洛中洛外図



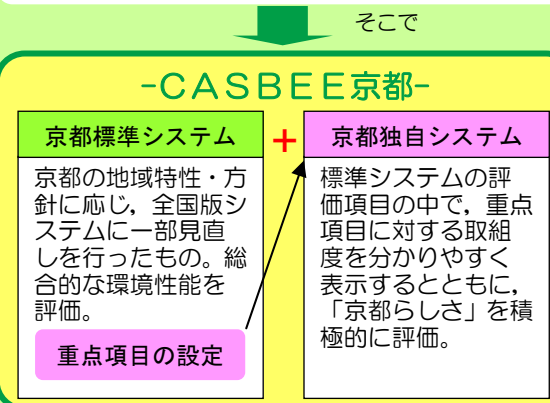
CASBEE京都の概要 — 環境に配慮した京都らしい建築物を増やすために

京都市では、平成16年に京都市地球温暖化対策条例を制定し、建築物の温室効果ガス排出削減対策を進めてきました。この取組を、歴史都市京都の特性を生かして一層推進するため、建築物の環境性能を総合的に評価するための新たなシステムとして、「CASBEE京都」の運用を開始することとしました。

「CASBEE京都」は、全国版のCASBEEをベースに京都が目指すべき環境配慮建築物を適切に評価、誘導できるように見直しを行ったものです。環境配慮建築物として持つべき性能や低炭素化に対応する新しい技術などの評価項目と同時に、京町家等に見られる暮らし方の知恵や技術、自然と結びついた景観の考え方など京都らしい評価項目をきめ細かく織り込んでいます。

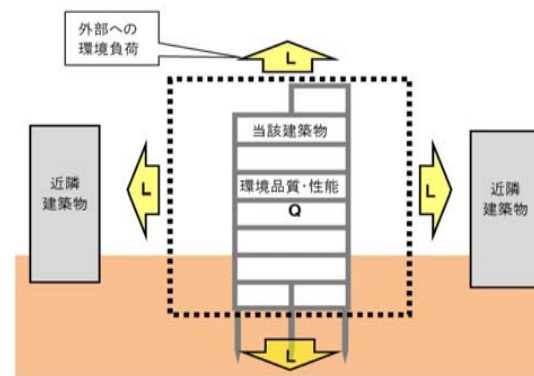
今後、このシステムを活用し、京都らしい知恵と工夫が盛り込まれた環境配慮性能の高い建築物への誘導を図ります。

-CASBEE 全国版システム-
全国一律に適用可能なものとしてつくられたもの。地域特性が十分に反映されない面がある。



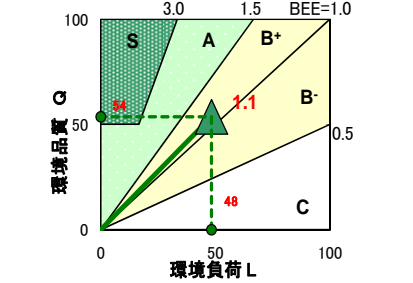
CASBEEとは (キャスビー：Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency の略)

CASBEEとは、省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価し、5段階に格付けする大変分かりやすいシステムです。



環境品質・性能Qが大きく、環境負荷Lが小さいほど高い評価(BEE値)が得られる!

建築物の環境効率 BEE = $\frac{\text{環境品質・性能 Q (Quality)}}{\text{環境負荷 L (Load)}}$



ランク	評価	ランク表示
S	素晴らしい	★★★★★
A	大変良い	★★★★★
B+	良い	★★★★★
B-	やや劣る	★★★★★
C	劣る	★★★★★

CASBEE京都の目指す環境配慮建築物

3つのキーワード

大切に使う

- 建築物を大切に、資源を大切に。
- 適切な維持管理、軒や庇による外壁の保護、可変性・更新性等による建築物の長寿命化
 - 環境負荷の少ない地域産材、古材の活用 など

ともに住まう

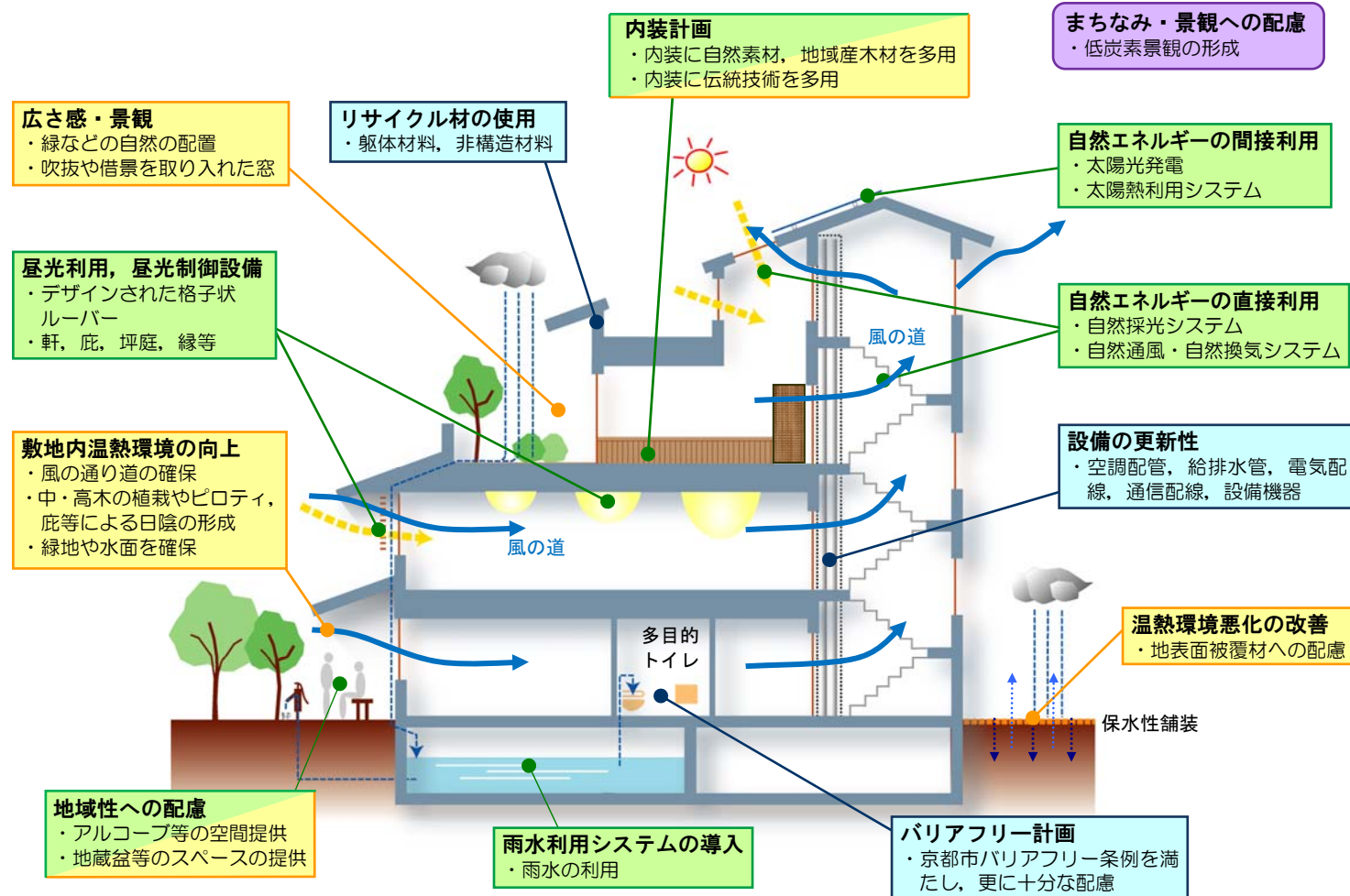
- 自然とともに住まい、地域とともに住まい、歴史とともに住まう。
- 周辺環境や地域・コミュニティ、既存の自然環境への配慮による都市・地域の持続可能性への寄与
 - 歴史性への配慮 など

自然からつくる

- 自然材料を使ってつくる、自然を生かして計画する。
- 自然材料の利用による景観・環境への寄与
 - 自然環境・エネルギーを積極的に活用した建築計画



建築(戸建住宅以外)の重点項目(例)



戸建住宅の重点項目(例)

